

かがやき

令和6年 7月 9日 (火)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 6

いろんな変化と成長の前期・ここまで

今年も猛暑の夏がやってきています。いよいよ夏休みまでのカウントダウンも始まり、子供たちとの話題の中にも「夏休み」関連の言葉が増えています。4月からの様々な時間、進級や行事、学校生活等々。大人目線では「長い長い一学期、いろんな成長があったね」となるのですが、当の子供たちはどのように感じてきたのかなあとと思います。大人と異なる時間軸をもつ子供たち。1日、1週間の時間も振り返るには遙か遠い昔のことに感じているのかもしれませんが。ただ、そうした中でも、出来たことを子供たちと共有すると、「そうだったなあ」「そんなことあったっけ!？」と成長を反すうする場面もあります（主に3年生以上）。

小集団指導や個別指導の場面から大人目線で、日々の成長を感じたエピソードをいくつか紹介します。

1年生

自分の小集団や個別の時間を意識するようになりました。「今日かがやき?」と聞いてくる子もいます。そして、右も左も怪しかった1年生が自分でかがやきの教室に通ってることができています。これも成長の変化ですね。

2年生

小集団指導内での、仲間や相手に対しての意識が出てきました。相手の意見や反応に自分の意見を出す。時にぶつける。自分の得意や苦手と友達の得意や苦手を比べる場面もありました。

3年生

小集団指導内のちょっとしたトラブルがあった後、その場面についての振り返りを静かに聞くことができました。そして、「どうすればよかった?」をみんなで考えることができました。

4年生

授業への参加状態を、3年生の時より自分で調整できることが増えました。ランドセルの片づけや学習態勢は前より意識できているとのことです(本人談)。



5年生

高学年グループとしての意識が少しずつ出てきました。一人ひとりの要求もありますが、周囲とも合わせてゲームに参加する。相手の意見を聞き、自分の意見を言う相談の場面。ここにも成長を感じます。

6年生

最上級生として自分達の進路を意識するグループです。自分はどう考えるのか、友達の意見はどうか、時に反抗期の入り口で反目したり、ちょっとしたいざこざになったりもするけど、こうした時間もあと少しだということを少しずつ実感していると思います。

夏休みのこの期間、見えない成長をしていく子供たち。休み明け、みんな元気に夏の思い出を共有したいと思います。安全に、健康に、良い夏休みをお過ごしください。